

## カンゾウ末

1

2 **確認試験の項を次のように改める。**

3 **確認試験** 本品 2gにエタノール(95)／水混液(7：3)10mLを加え、水浴上で5分間振り混ぜながら加熱し、冷後、ろ  
4 過し、ろ液を試料溶液とする。別にグリチルリチン酸標準品 5mgをエタノール(95)／水混液(7：3)1mLに溶かし、標  
5 準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー〈2.03〉により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 2μL  
6 ずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲル(蛍光剤入り)を用いて調製した薄層板にスポットする。次に1-ブタノ  
7 ール／水／酢酸(100)混液(7：2：1)を展開溶媒として約7cm展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線(主波長  
8 254nm)を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち1個のスポットは、標準溶液から得た暗紫色のス  
9 ポットと色調及び $R_f$ 値が等しい。

10

11